

平成27年度 首都大学東京大学院都市環境科学研究科
都市システム科学域 選抜試験（夏季）
博士前期課程（一般・社会人）

科目 <小論文>

時間 12：30～14：30

- 注意事項：
- ①問題の選択にあたっては、最初のページの冒頭の説明をよく読んで解答しなさい。
 - ②その他、監督者の指示に従うこと。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

以下の設問（１）～（４）の中から、いずれか1問を選択し解答しなさい。

（１）今から十数年前のことである。東京の下町地域で工場跡地に高層の集合住宅が次々に建設されていく様子を見て、ヨーロッパからのある留学生は、「郊外化」という言葉でそれを表現した。この表現について論評しなさい。

（２）表は、今後５年程度の間に住宅の住み替え・改善の意向・計画のある世帯について、その目的を住宅所有形態別に集計したものである。

（国土交通省「住生活総合調査結果」より抽出し作成）

まず、表より住宅所有形態の差異に気を付けて我が国の住宅需要の要因を読みとり、記述しなさい。次に、それをもとに住宅供給の方策を考察し、論述しなさい。

表：住宅所有形態別の住み替え・改善の目的

	身辺事情への対応					住宅の改善			環境の改善		これからの生活に備えるため			その他				総数 (千世帯)
	結婚など による世 帯の分離 や独立に 対応する ため	子の誕生 や成長な どに備え るため	就職、転 職、転勤 などに対 応するた め	親または 子との同 居に対応 するため	家を相続 するため	安全性の 高い住宅 にするた め	快適・便 利な住宅 にするた め	ローン、 家賃など の住居費 負担を軽 減するた め	安全性の 高い居住 環境にす るため	快適・便 利な居住 環境にす るため	高齢期に も住みや すい住宅 や環境に するため	資産を形 成する (不動産 を所有す る)ため	住宅や庭 等の維持 管理を容 易にする ため	さしあた り不満は ないがよ い住宅に したいた め	立ち退き 要求、契 約期限切 れのため	その他	不明	
持家	3.1	7.4	1.1	8.2	1.8	16.7	37.8	1.3	4.4	15.8	24.2	1.2	6.6	15	0.4	7.6	5.7	4048
借家	7	28.4	15.8	9.5	2.1	4.6	22.8	16	3	17	8.3	5.1	0.7	6.9	4.2	7	4.6	3790

(%)
国土交通省「住生活総合調査結果」(平成20年)より作成
複数回答。総数に占める割合(%)

（３）「災害時応急仮設住宅」の供給面での課題について、適宜、東日本大震災時の事例に言及しながら説明し、その解決に向けた考えを述べよ。

（４）「都市間競争」を巡っては様々な見解が存在する。①その「競争」における「順位」はどのような「項目」で順序付けされるのか、②その「項目」はどのようにして「測定」され得るか、そして、③それら項目に対して、どのようにすれば「競争」上で優位に立つことができるのか、について論じなさい。